

在来家畜研究会・日本動物遺伝育種学会合同シンポジウムのお知らせ

- ・ 日 時：2026年9月15日（火）13:00～16:00
- ・ 場 所：第II会場（農学部L104）
- ・ 参加費：無料、事前申し込み不要

今年度のシンポジウムは、西南諸島の在来家畜にスポットを当て、文化人類学や分子遺伝学の視点から最近の調査や研究成果を報告していただきます。地域固有の動物遺伝資源の価値や保全の意義などについて理解を深めればと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

在来家畜研究会・日本動物遺伝育種学会合同シンポジウム

テーマ）「西南諸島の在来家畜に関する最近の話題」

・ 進行

挨拶と企画説明

13:00～13:05 下桐 猛（在来家畜研究会庶務幹事）

話題提供

13:05～13:55 木村大治 先生（京都大学名誉教授）

「口之島野生化牛：調査の歴史，生態，社会構造」

13:55～14:50 印牧美佐生 先生

「家畜育種学から見た口之島野生化牛」

15:00～15:50 米澤隆弘 先生（広島大学教授）

「タイトル未定」

15:50～16:00 総合討論

問い合わせ先：下桐猛（在来家畜研究会庶務幹事）

TEL：099-285-8588、

E-mail:simogiri@agri.kagoshima-u.ac.jp